

NEWS RELEASE

平成19年9月18日  
文化庁

## 文化庁 第5回国際文化フォーラムについて

文化の多様性 ～文化力発信！ 日本から世界へ～  
－ World Cultural Forum 2007 －

文化庁では、本年11月に奈良、京都、東京、福岡において、合計5回のセッションにわたる文化芸術に関する国際的なフォーラムを下記のとおり開催いたしますのでお知らせします。

### 1. 趣 旨

国際文化フォーラムは、「文化の多様性」を大きなテーマに、内外の著名な文化人・芸術家が世界の文化の最新情報や文化をとりまく課題に関する知見を、講演・討論・座談会を通じて提供するとともに、世界に向け、日本文化を発信する目的で開催します。

### 2. 事業概要

本年は「文化の多様性」「歴史と文化遺産」「文化遺産と地震」「美術と文化」「映画と文化」といったサブテーマの5つのセッションを開催します。各セッションの会場では、主に関西、九州、東京が誇る歴史的建造物や現代建築等の文化遺産を舞台に世界の文化人が議論を交わします。  
各セッションの詳細は別紙のとおりです。

### 3. 「関西元気文化圏」・「九州・沖縄から文化力プロジェクト」での位置付け

国際文化フォーラムは、文化庁が地域から文化力で日本を活気付けることを目的に提唱する「関西元気文化圏」及び「九州・沖縄から文化力プロジェクト」の中心事業として開催するものです。

### 4. 開催時期・会場

時期：平成19年11月10日（土）～25日（日）のうち5日間  
会場：全国5会場（奈良、京都2ヶ所、東京、福岡）（※詳細は別紙のとおり）

#### 【添付資料】

- 実施概要・開催日程・出演者プロフィール
- リーフレット

#### <お問い合わせ>

文化庁長官官房国際課  
課 長 亀 岡 雄 （内線2845）  
国際文化交流室長 田 村 寿 浩（内線3153）  
代 表：03-5253-4111  
直通電話：03-6734-3110

## 平成19年11月、全国5会場で開催決定！！

「第5回国際文化フォーラム」では、ユネスコの提唱する人類共通の遺産「文化の多様性 (Cultural Diversity)」を大きなテーマに、国内外の著名な文化人・芸術家が、世界の文化の最新情報や文化をとりまく課題に関する知見を、講演・討論・座談会を通じて提供すると同時に、日本の伝統文化から世界を席卷するポップカルチャーまで日本文化の魅力についても広く伝えていきます。

セッションごとにサブテーマを設け、グローバルな視点で文化の意義と文化の与える影響力について議論を展開し、日本から世界に向けて文化のメッセージを発信します。

つきましては、当事業についてのご理解を賜るとともに、貴媒体および貴団体での告知・紹介等をお願いいたくお知らせ申し上げます。

### 記

1. 名 称 第5回国際文化フォーラム
2. テーマ 文化の多様性 ～文化力発信！日本から世界へ～
3. 構成
  - ①開会式（基調講演・鼎談）「文化の多様性」（開催地：奈良県）
  - ②平山座長座談会「歴史と文化遺産」（開催地：京都府）
  - ③土岐座長座談会「文化遺産と地震」（開催地：京都府）
  - ④高階座長座談会「美術と文化」（開催地：東京都）
  - ⑤高野座長座談会「映画と文化」（開催地：福岡県）

※いずれのセッションも、聴講の参加が可能です。

（参加費無料。申込方法は添付リーフレットを参照。）

4. 日 程 平成19年11月10日（土）～25日（日）  
（別紙「開催日程」のとおり）

5. 主 催 文化庁、日本経済新聞社、NHK、  
関西元気文化圏推進協議会、九州・沖縄文化力推進会議  
※上記組織は事業全体の主催者。別途各会場にて共催団体あり。

※実施内容は、状況により変更の可能性がありますことをご了承下さい。



※写真はすべて昨年度、第4回国際文化フォーラムより

文化庁国際文化フォーラムURL：  
<http://www.bunka.go.jp/culturalforum/>

<取材のお申込み・お問合せ>  
**第5回国際文化フォーラム事務局**  
 担当：西川、江幡  
 電話：03-5478-8320  
 FAX：03-3481-7774  
 E-Mail：wcf2007@nhk-ep.co.jp

## 開会式（基調講演・鼎談） 「文化の多様性」 ～文化の力が世界をつなぐ～

- 日時：平成19年11月10日（土）13:30-17:30
- 会場：奈良県新公会堂 能楽ホール（奈良市春日野町）
- 主催：文化庁、奈良県、日本経済新聞社、NHK、関西元氣文化圏推進協議会
- 出演：基調講演 キム・ミョンゴン（前韓国文化観光部長官／韓国）
- パフォーマンス 村上 隆（アーティスト）
- 鼎談 天平楽府
- ヌール・ヤルマン（ハーバード大学社会人類学及び中東地域学教授）
- 村上 隆（アーティスト）
- 青木 保（文化庁長官）
- 森田 美由紀（NHKアナウンサー）
- 総合司会

## 平山座長座談会 「歴史と文化遺産」 ～過去は誇りを語る～

- 日時：平成19年11月11日（日）13:30-17:00
- 会場：知恩院 御影堂[みえいどう]（京都市東山区）
- 主催：文化庁、京都府、京都市、日本経済新聞社、NHK、京都新聞社、関西元氣文化圏推進協議会
- 出演：平山 郁夫（財団法人文化財保護・芸術研究助成財団 理事長）
- モハメッド・ベジャウィ（前アルジェリア外務大臣／アルジェリア）
- 遠山 敦子（財団法人新国立劇場運営財団 理事長、元文部科学大臣）
- ヌール・ヤルマン（ハーバード大学社会人類学及び中東地域学教授／トルコ）
- カレッド・セッラミ（チュニジア戦略研究所 戦略監視ディレクター／チュニジア）
- 山内 昌之（東京大学大学院教授）

## 土岐座長座談会 「文化遺産と地震」 ～私たちの備えは万全か～

- 日時：平成19年11月17日（土）13:30-17:00
- 会場：清水寺 大講堂 円通殿（京都市東山区）
- 主催：文化庁、立命館大学、京都府、京都市、日本経済新聞社、NHK、京都新聞社、関西元氣文化圏推進協議会
- 出演：土岐 憲三（立命館大学教授、歴史都市防災研究センター長）
- ジョバンニ・ボッカルディ（ユネスコ世界遺産センター アジア太平洋地域チーフ）
- 冷泉 貴実子（財団法人冷泉家時雨亭文庫 常務理事）
- 藤 ジニー（山形県銀山温泉旅館藤屋 女将、文化審議会文化財分科会世界文化遺産特別委員会委員）
- 森 孝忍（清水寺 法務・庶務部長）

## 高階座長座談会 「美術と文化」 ～人に与えるアートのか～

- 日時：平成19年11月23日（金・祝）13:30-17:00
- 会場：国立新美術館 講堂（東京都港区）
- 主催：文化庁、国立新美術館、日本経済新聞社、NHK
- 出演：高階 秀爾（大原美術館長）
- ベ・ビョンウ（写真家／韓国）
- クリスチャン・ボルタンスキー（アーティスト／フランス）
- チェッコ・ボナノッテ（彫刻家／イタリア）
- やなぎ みわ（美術作家）
- 建畠 哲（国立国際美術館長）

## 高野座長座談会 「映画と文化」 ～日中韓でできること～

- 日時：平成19年11月25日（日）14:00-18:00
- 会場：NTT夢天神ホール（福岡市中央区）
- 主催：文化庁、福岡県、日本経済新聞社、NHK、西日本新聞社、九州・沖縄文化力推進会議
- 出演：高野 悦子（岩波ホール総支配人）
- 謝 晋（映画監督／中国）
- キム・ドンホ（釜山国際映画祭執行委員長／韓国）
- 青木 保（文化庁長官）

## 1. 開会式

※職名の後の括弧内は国籍

### 基調講演



#### キム・ミョンゴン / 前韓国文化観光部長官(韓国)

2006年～2007年にかけて韓国文化観光部長官を務める。2000年～2005年まで韓国国立中央劇場長、1986年～1999年まで劇団「アリラン」代表。2005日韓友情年諮問委員会メンバーや2005年開催のAPECサミット晩餐会での文化イベントの芸術総監督を務める。テレビ番組、映画、雑誌などの媒体、そして演劇、舞踊劇、唱劇(韓国古典オペラ)などの舞台芸術に於いて、役者、演出家、ライター、編集者として豊富な経験をもつ。また、映画「西便制(日本名:『風の丘を越えて』)」(1993年)への出演により青龍映画賞主演男優賞をはじめ、演劇界や映画界で数多くの賞を受賞。ソウル大学校でドイツ語教育専攻、東国大学校大学院で言論情報学を学ぶ。



#### 村上 隆(むらかみ たかし) / アーティスト

日本を代表する現代美術家として活躍し、日本アニメ等サブカルチャーをベースに敷いたポップな作品は、国内外を問わず絶大な評価を得ている。ルイ・ヴィトンや六本木ヒルズとのコラボレーション、若手アーティストのプロデュース、アートイベントGEISAIの主宰など、広くアートに関わる事業を手がけている。

2007年10月よりロサンゼルス現代美術館を皮切りに、世界4都市を巡回する回顧展「©MURAKAMI」を開催する。

Photo ©GION

### パフォーマンス



#### 天平楽府(てんぴょうがふ) / 正倉院復元楽器オーケストラ

作曲家で古代音楽の研究者でもある劉(りゅう)宏軍(ほんじゅん)が主宰する正倉院の復元楽器を演奏する室内楽グループ。正倉院の資料を基に古今の文献を調べ、多くの研修者や音楽家の助言を得つつ、遣唐使の帰国や東大寺の大仏開眼供養(西暦752年)の折に、楽人をはじめ渡来人たちがシルクロードを経てもたらした楽器の復元に取り組み、内外の第一線で活躍する演奏家たちとコンサートや古代楽譜の現代譜への訳譜・復曲にも精力的に活動を続けている。復元楽器の中でも、螺鈿紫檀(らでんしたん)五絃琵琶は、世界に唯一といわれ、貴重な文化遺産となっている。

### 鼎談



#### ヌール・ヤルマン / ハーバード大学社会人類学及び中東地域学教授(トルコ)

ハーバード大学人類学科にて社会人類学及び中東地域の教授。ハーバード大学ソサエティ・オブ・フェローズのシニアフェロー、アメリカ芸術科学アカデミーの会員、また英国社会人類学会、及び米外交問題評議会の会員を務める。トルコのイスタンブールにあるコチ大学とロバート・カレッジの理事会メンバーでもあり、スリランカ、インド、イラン、トルコでの実地調査の経験をもつ。



#### 青木 保(あおき たもつ) / 文化庁長官

人間科学博士。文化人類学、比較文化論を専門分野とし、大阪大学教授、東京大学教授、政策研究大学大学院教授、早稲田大学アジア研究機構教授を経て、2007年4月より文化庁長官。この間、米ハーバード大学客員研究員、仏国立パリ社会科学高等研究員客員教授、独コンスタンツ大学客員教授なども務める。タイ、スリランカなどのアジア諸国、欧米各国等の文化人類学や文化政策の調査研究に従事。サントリー学芸賞受賞、吉野作造賞、紫綬褒章を受賞。「儀礼の象徴性」「『日本文化論』の変容」「逆光のオリエンタリズム」「異文化理解」など著書は多数。

※村上 隆 氏は基調講演とともに、鼎談にも出演予定。 ※プロフィール省略

## 2. 各座談会座長

### 平山座長座談会 「歴史と文化遺産」 ～過去は誇りを語る～



#### 平山 郁夫 (ひらやま いくお) / (財)文化財保護・芸術研究助成財団理事長

日本を代表する画家。前東京芸術大学学長。シルクロードをテーマにした一連の作品は高い評価を得ている。また、世界各地の毀損や破壊の危機に瀕してる文化遺跡の保存・修復のために活動。現在、ユネスコ親善大使、(財)文化財保護・芸術研究助成財団理事長、(財)日本美術院理事長、独立行政法人国立文化財機構顧問、日中友好協会会長等として幅広い分野で活躍。

### 土岐座長座談会 「文化遺産と地震」 ～私たちの備えは万全か～



#### 土岐 憲三 (とき けんぞう) / 立命館大学教授、歴史都市防災研究センター長

1966年京都大学大学院工学研究科修了。1976年京都大学教授。1997～1999年京都大学工学部長。2001～2002年京都大学総長補佐。2002年立命館大学理工学部教授。2003年総長顧問。2004年歴史都市防災研究センター長。中央防災会議東南海・南海地震等専門調査会座長ほか多数の委員。2005年西日本高速(株)監査役。2006年に防災功労者として内閣総理大臣表彰。専門は地震工学、文化財防災学。

### 高階座長座談会 「美術と文化」 ～人に与えるアートの力～



#### 高階 秀爾 (たかしな しゅうじ) / 大原美術館長

国立西洋美術館主任研究官、東京大学教授、フランス・ポンピドゥー芸術文化センター客員教授、コレージュ・ド・フランス招聘教授、ハーバード大学招聘研究者などを歴任。1992年、東京大学名誉教授。1997年パリ第一大学名誉博士。1992年～2000年まで国立西洋美術館長。2002年より大原美術館長。2004年、京都造形芸術大学大学院長、同比較芸術学研究センター所長。

### 高野座長座談会 「映画と文化」 ～日中韓でできること～



#### 高野 悦子 (たかの えつこ) / 岩波ホール総支配人

旧満州(現・中国北東部)生まれ。東宝(株)勤務を経て、パリ高等映画学院(IDHEC)監督科を卒業。帰国後、衣笠貞之助監督の助手、TVドラマの脚本、演出を手がける。1968年岩波ホール創立と同時に総支配人に就任。1974年、世界の名画を発掘・上映する「エキブド・シネマ」を主宰。ミニシアターの先駆けとなる。1997年～2007年8月まで国立フィルムセンター名誉館長。2006年より(社)日本ポルトガル協会会長。2004年文化功労者。

※各座談会のその他の出演者プロフィールに関しましては、現在準備中です。  
 ご必要な場合は、別途「第5回国際文化フォーラム事務局」までお問合せ下さい。